

宇都宮市立富士見小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
数学的な見・考え方を高め合う授業づくり	各教科で『つかむ』『考える』『深める』『確かめる』という指導過程を展開し、学び方の共通理解を図って授業を進めていく。 自力解決の時間を十分に確保し、できる喜びを味わわせる。	算数科の実態調査「算数の問題で新しい問題を解くとき、いろいろな考え方で解こうと頑張っている」「算数の授業で問題等を正しく回答できると楽しい」の設問で、肯定的回答をしている児童が増えた。
家庭学習の習慣化を高める指導	各学年における自主学習の方法を記載した「家庭学習のすすめ」を配付し、家庭への啓発を図る。 スタンダードダイアリーを活用して家庭学習時間をチェックしたり、学習計画表を作成させたりして実践させる。	学習内容定着度調査のアンケート「学校の授業以外に、1日どれくらい学習していますか」の設問で、平日の学習時間が1時間以上と回答している5、6年生の割合が市の平均より2～9ポイント以上高い。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方角性

・「グループなどでの話合いに自分から進んで参加している」「自分の考えを根拠をあげながら話している」の設問に肯定的回答をしている4～6年生の割合が市の平均より下回っている。グループやペアでの話合いの場を多く設定するとともに、明確な目的のある交流となるよう話合いのさせ方を工夫していきたい。

・「学校の授業以外に、1日どれくらい学習していますか」の設問で、平日の学習時間が1時間以上と回答している4～6年生の割合が昨年度より高くなった。その一方で、ほとんどしないと回答している児童が0.9～6.1%いる。発達の段階に応じ、家庭学習の時間が確保できるよう、宿題や自主学習に取り組む指導を充実させていきたい。